



## クローンの管理

### Database workloads

NetApp  
January 05, 2026

# 目次

クローンの管理 .....	1
サンドボックスクローン内のデータの整合性をチェックする .....	1
NetApp Workload Factory for Databases でデータベース クローンを元に戻す .....	1
NetApp Workload Factory for Databases でデータベース クローンを更新する .....	2
サンドボックスクローンをCI/CDツールに接続する .....	2
データベースクローンの接続情報を表示する .....	3
ソースデータベースからデータベースクローンを分割する .....	3
NetApp Workload Factory for Databases でデータベースクローンを削除する .....	4

# クローンの管理

## サンドボックスクローン内のデータの整合性をチェックする

NetApp Workload Factory for Databases で整合性チェックを実行し、サンドボックス クローン データが損傷していないか破損しているかを確認します。

### タスクの内容

ソースデータベースがビジー状態のときにソースデータベースからサンドボックスクローンを作成すると、クローンのデータがソースデータベースの最新のスナップショットと同期していない可能性があります。この処理では、サンドボックスクローン内のすべてのオブジェクトの整合性がチェックされ、サンドボックスクローンデータが最新かどうかが確認されます。

### 手順

1. いざれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に\*ストレージ\*を選択します。
3. データベースメニューから\*サンドボックス\*を選択します。
4. サンドボックスで、整合性をチェックするサンドボックス クローンのアクション メニューを選択します。
5. [整合性チェックの実行]\*を選択します。
6. [整合性チェック]ダイアログで、\*[整合性チェック]\*をクリックします。
7. サンドボックスまたはジョブ監視で整合性チェックのステータスを確認します。

整合性チェックに失敗した場合は、サンドボックスクローンを使用せずに、新しいサンドボックスクローンを作成することを推奨します。

## NetApp Workload Factory for Databases でデータベース クローンを元に戻す

NetApp Workload Factory for Databases でデータベース(サンドボックス) クローンを、作成時の元のバージョンに戻します。

### タスクの内容

データベースのクローンを作成すると、作成時のクローンはベースライン クローンになります。クローンされたデータベースのデータは、作成時のソース データベースと同じです。データベース クローン内のデータは時間の経過とともに変化するため、クローンが最初に作成されたときのベースラインにデータを戻すことが必要になる場合があります。この操作はクローンの再ベースライン化と呼ばれます。新しいクローンを作成するのではなく、クローンを再ベースライン化するとスペースが節約されます。ただし、データベース クローンに加えられた変更はすべて削除されます。

### 手順

1. いざれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に、[データベース]を選択します。

3. データベースメニューから\*サンドボックス\*を選択します。
4. サンドボックスで、元に戻すデータベース クローンのアクション メニューを選択します。
5. [ベースラインの再設定]\*を選択します。
6. 再ベースライン ダイアログで、再ベースライン を選択します。

## NetApp Workload Factory for Databases でデータベース クローンを更新する

NetApp Workload Factory for Databases 内のデータベース (サンドボックス) クローンを更新して、現在の時点または以前の時点のソース データベースと同等にします。

### タスクの内容

クローンを更新すると、現在のソースデータベース、または過去の時点で作成されたソースデータベースのスナップショットに対してクローンが更新されます。サンドボックスクローンに対する変更はすべて削除されます。

### 開始する前に

更新は、ソースデータベースがアクティブな場合にのみ実行できます。

Snapshotからデータベースクローンを更新するには、処理用にソースデータベースに少なくとも1つのSnapshotが必要です。

### 手順

1. いざれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に、[データベース]を選択します。
3. データベースメニューから\*サンドボックス\*を選択します。
4. サンドボックスで、更新するサンドボックス クローンのアクション メニューを選択します。
5. [更新]\*を選択します。
6. [Refresh]ダイアログで、次のいざれかのオプションを選択します。
  - a. 現在の時刻に更新
  - b. ポイントインタイムに更新

このオプションでは、に更新するデータベーススナップショットをドロップダウンメニューから選択します。

7. [\* 更新 \*] をクリックします。

## サンドボックスクローンをCI/CDツールに接続する

REST API コードを使用してサンドボックス クローンを継続的インテグレーションおよび継続的デリバリー (CI/CD) パイプラインに接続し、NetApp Workload Factory for Databases の自動化によってソフトウェア配信を改善します。

## タスクの内容

新しいバージョンのソフトウェアをデータベースクローンに自動的に提供するには、CI / CDパイプラインに接続する必要があります。この処理で提供されるREST APIコードを使用して接続を確立します。

### 手順

1. いざれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に、[データベース]を選択します。
3. データベースメニューから\*サンドボックス\*を選択します。
4. サンドボックスで、サンドボックス クローンのアクション メニューを選択して、CI/CD ツールに接続します。
5. [CI/CDツールに接続]\*を選択します。
6. [CI/CD]ダイアログで、CI/CDツールへの接続に必要なREST APIコードをコピーまたはダウンロードします。
7. [\*閉じる\*] をクリックします。

## データベースクローンの接続情報を表示する

NetApp Workload Factory for Databases でデータベース クローンの接続情報を表示およびコピーします。

### 手順

1. いざれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に、[データベース]を選択します。
3. データベースメニューから\*サンドボックス\*を選択します。
4. サンドボックスで、サンドボックス クローンのアクション メニューを選択して、接続情報を表示します。
5. [接続情報を表示]\*を選択します。
6. [接続情報の表示]ダイアログで、必要に応じて接続情報をコピーします。
7. \*閉じる\*を選択します。

## ソースデータベースからデータベースクローンを分割する

NetApp Workload Factory for Databases では、データベース クローンをソース データベースから分割すると、一定量のストレージ容量を消費する新しいデータベースが作成されます。分割が完了するとクローンが削除され、新しいデータベースがインベントリに表示されます。

### 開始する前に

新しいデータベースに必要なストレージ容量を検討します。作業を開始する前に、FSx for ONTAPファイルシステムが必要な場合 "ファイルシステムの容量の拡張"。

## 手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に、[データベース]を選択します。
3. データベースメニューから\*サンドボックス\*を選択します。
4. サンドボックスで、分割するデータベース クローンのアクション メニューを選択します。
5. [分割]\*を選択します。
6. 分割ダイアログで、\*分割\*を選択します。

## NetApp Workload Factory for Databases でデータベースクローンを削除する

NetApp Workload Factory for Databases のサンドボックス クローンが不要になり、ストレージ容量を解放したい場合は、それを削除します。

## 手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に、[データベース]を選択します。
3. データベースメニューから\*サンドボックス\*を選択します。
4. サンドボックスで、削除するサンドボックス クローンのアクション メニューを選択します。
5. 「\* 削除」を選択します。
6. [削除] ダイアログで [削除] を選択して削除を確認します。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。